



バナナみたいになったお豆

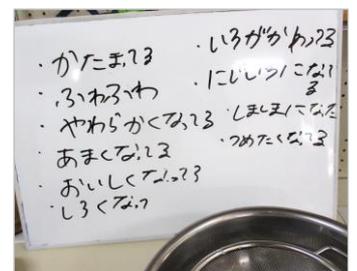
年中 きりん組



年中組では4月より、豆の探究活動をしています。お弁当や給食に入っていた豆をきっかけに、クラスタイムの時間に「豆」にはどんなものがあるのか、子どもたちと話してみると、色々な豆があることに気がきました。大豆、黒豆、枝豆、カラスノエンドウ、グリーンピースなどなどです。

まずは、家にあるお豆を持ってきてみることにしました。子どもたちから名前のあがった豆に加えて、ささげやあずき、レンズ豆やスナップエンドウや絹さや、からすのえんどうなどたくさんの豆が集まりました。「わぁ！こんな色の豆もあるんだ」「これはお家にある！」「豆まきのやつだ！」と気がつき、子どもたちのなかから「この豆たべてみたい！」という、人間らしいわくわくした好奇心が自然と出てきたのです。ある子が、おじいちゃんが作っているスナップエンドウと絹さやをたくさん持ってきてくれたので、まずは茹でて食べてみることにしました。「なんか甘酸っぱい」「甘かった。僕、初めて食べられた」など、いろいろな感想が出てきます。

「今度はこっちの豆を食べてみよう」。乾物の豆たちを食べることを子どもたちは期待しています。「さて、これどうやって食べようか…」と投げかけると、「水に濡らす！」「茹でる！」という方法が提案されました。そこで、ボールに豆と水を入れて一晩置いて、次の日に茹でることにしました。「水に濡らしたら、明日、どうなっているのかな？」と尋ねると、「ふわふわになってる」「かたまってる」「あまくなってる」「しましまになってる」「にじいろになってる」と、想像力を働かせたり、知っていることを思い返したりしながら考えていました。



さて、次の日、どうなったでしょうか。

「わぁ～！」

「バナナみたいになってる！」

なんと丸かった豆の形が、楕円型になり少し曲がっていました。その変化を「バナナみたい」と子どもたちは表現しています。子どもたちは誰も不思議に満ちた驚きの表情をしています。そして、実際に食べてみて、その味を堪能しました。バナナの味……ではなかったようです。

五感を通して豆と触れ合い、「これってどうなるのだろう？」と想像力を働かせていく子どもたちのまなざしは、真剣そのものです。まだまだ探究を続ける子どもたちは、次にどんな発見をするのでしょうか。楽しみです。

(教諭・小川結花)





ほっと一息ついてゆったり過ごす

預かり保育 にじ組

幼稚園での教育時間が終わると、「ただいま」とにじ組に「帰って」きます。利用人数が多い時は年少児、年中児はにじ組の部屋で、年長児は園ホールで過ごします。荷物をしまくと眠くて座り込む年少児、いち早く着替えを終えて「終わったよ!」と布団に向かい、近くの友だちとちょっとおしゃべりをする年中児、園ホールの年長児は着替えを終えて、自分でタオルを敷いたコットの上で読み聞かせを待つなど、入室から 20 分ほどの間に子ども達は目まぐるしく動きます。それでも全員が布団に入るとあっという間に静かになります。いつの間にか眠ってしまう子や眠らなくとも横になって疲れた体を休める子と様々です。白梅幼稚園の預かり保育ではこの「休息」時間を大切にしています。年長児は2学期以降、就学に向けて午睡の時間を徐々に減らしていきます。

午睡から起きるとおやつの時間です。コロナ禍では皆が同じ方向を向いて食べていましたが、5月からは向かい合って食べるようになりました。やはりお友だちの顔を見ながら食べるおやつのひとは楽しく、目が覚めてくると近くに座っている子とおしゃべりが始まります。



おやつを終えると、それぞれ遊びに向かいます。ままごとやブロックはもちろん、折り紙やあやとり、ぬりえやお絵描きなど、座って落ち着いて遊ぶことも多いです。いつも人気があるのは「玉さし盤」です。色を決めて並べたり、指でコマのように回して穴の中に入れることに挑戦したり、時にはままごとのご飯になったりすることもあります。一人でも大勢でも、学年を越えて一緒に遊ぶ姿が見られます。毎日顔を合わせる仲間がいたり、たまに来る仲間がいたり、人数が多い日、少ない日と様々です。



どの子にとっても居心地が良く、ゆったりした気持ちでお家の方のお迎えを待つことができる空間でありたいと、スタッフ一同願っております。(教諭・玉井三津)



白梅学園大学の大学生と遊んだよ

5月から6月にかけて、白梅学園大学と同短期大学の学生が、白梅幼稚園で教育実習を行いました。子どもたちは実習生と一緒に生活し、優しい声をかけてもらい、いろいろ教えてもらいました。ホールで身体の動きを真似し合ったりポーズを取ったり、ゲームをしたりした時は、歓声をあげながら活動を楽しみました。

6月20日に年中組は大学の中庭に出かけ、大学子ども学科3年生のみなさんと一緒に遊びました。鬼ごっこやアジサイの花摘みをしたり、木登りを支えてもらったりしました。金柑は木の上の方にあり、おにいさんが脚立に上がってたくさん取ってくれました。お別れの時、学生のみなさんがトンネルをつくってくれて、その中をくぐって園に戻りました。

